

定例戦実施報告書

1. 定例戦実施報告

2021年 6月 27日、(クラブ名) 阪大OLC・神大OLK・奈良女OLC は 太陽が丘 において、令和 2021年度関西学連第1回定例戦を実施したことをここに報告する。

2. 実行委員長報告

今年度は新型コロナの影響で、各大学の新歓があまり進まず、新入生が参加してくれるか不安であった。しかし、各大学のオンライン新歓や広報のおかげで、多くの新入生が参加してくれて、大会の雰囲気を知ってもらえる良い機会となった。新入生が多かったため、伴走の人員が不足し、慌ただしくなった。

3. 運営責任者報告

3月上旬頃から大会運営が動き始めた。当初は5/22開催であったため、あまり時間がなく、今まで渉外が通りやすかった太陽が丘をトレインに選んだ。今年は新型コロナの影響で開催・延期の判断が難しかった。また、今回は地図印刷とシーリングを運営者で行ったため、大会1週間前からは非常に忙しかった。当日の運営は阪神奈2,3回生とEAの太田さんで行った。新入生の参加者が多かったため、コンパスの貸し出しや伴走者の調整が大変だった。初心者講習も実施したが、一般参加者の方も読み歩きを手伝ってくださったこともあり、スムーズに進んだ。反省点としては、賞状の準備が遅れ、表彰式開始まで時間がかかったことや午後のスコア〇に参加しない方に午前のスプリントの賞状と景品を渡し忘れたことがあげられる。

4. 競技責任者報告

試走では、コースの安全性やアングルを刺せるかの確認を行った。また、午前と午後でポスト位置が異なることから、ポスト移動についても考えた。競技の公平性や安全性も踏まえて公式掲示板を作成した。

当日は、設置の割り振りとポスト確認を行った。アングルが刺せると思っていた箇所が刺せないなど少しトラブルもあったが無事に設置ができた。競技が始まってからは計センのサポートなどを行った。午後も午後も無事に競技を成立させられてよかった。

5. 大会コントローラ報告

事前準備では、コースの妥当性や安全性を確認した。また、延期日程を決めるミーティングにも参加し、助言を行った。

当日は全体のサポートとポスト確認を行った。午前のスプリントと午後のスコア0でポスト位置が異なったため、それぞれポスト確認を行った。また、当日の試走で計センに間違いがあることに気が付き、修正を行った。

6. 将来への提言

早く動き出すことが重要だと思う。今回は5/22開催予定で、3月上旬から動き出したが、慌ただしかった。特に渉外は第1希望がスムーズに通らないことも多々あり、今回も鶴見緑地(来園者が多いため没)と有馬富士公園(規模が大会にしては小さいため没)の渉外が通らず、第3希望の太陽が丘に決まった。

また、予算案の作成では、支出漏れがないように気をつけたいといけない。今回は太陽

が丘は阪大と神大から遠かったため、交通費が高くなることを見込み、試走の際にバスを使わないなど節約していた。出来る所で節約するのも大切だと思う。
当日は運営者集合時間からトップスタートまで十分な時間を取ることが大切だと思う。
時間に余裕があれば、試走や計センでトラブルが発生しても対処出来る。

上記及び、関西学生オリエンテーリング連盟競技部長へ提出されたスタートリスト及び公式成績を併せて定例戦実施報告書とする。

以上